

1年		2年		3年		4年	
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
専門科目 (選択24単位)	凡例: 共通科目 計画系 環境系 構造系 その他						
	設計及び実測演習 前 2 1(社)						
	設計及び実測演習 後 2 2(社)						
	データサイエンス・後 2 AI応用基礎						

専門科目 (選択必修11単位)	どちらか1つを 選択必修						
							設計製図5(社) 前 3
							卒業設計1(社) 前 4 → 卒業設計2(社) 後 4
							論文講読及び演習 1(社) 前 2 → 論文講読及び演習 2(社) 後 2
							卒業研究1(社) 前 4 → 卒業研究2(社) 後 4

専門科目 (必修36単位)	構法計画(社) 前 2 建築環境工学(社) 前 2 コンピューターリテ ラシー(社) 仕上材料(社) 前 2						
							建築計画(社) 後 2 建築設備(社) 後 2 構造力学及び演習 (社) 後 3 建築施工(社) 後 2
							日本建築史(社) 前 2 建築意匠(社) 前 2
							世界建築史(社) 後 2 構造計画(社) 前 2 建築法規(社) 後 2
							設計製図1(社) 前 3 → 設計製図2(社) 後 3 → 設計製図3(社) 後 3

専門基礎 (必修13単位)	設計基礎1(社) 前 3 → 設計基礎2(社) 後 3						
							計画系(第1部門) 豊かな暮らしを営むために必要な住まい・オフィス・公共施設など人間を取り巻く様々な空間を、プランニングの立場から総合的にとらえる分野です。建築計画、都市計画、設計計画、構法計画、歴史意匠などがあります。将来は、建築・都市設計(企画・意匠設計)、都市計画、再開発、マネジメント、保存再生などの専門家等を目指します。
							環境系(第2部門) 人間や建築は外皮を通して外界と熱などのやり取りをしています。環境系では、熱・光・空気・音などのやり取りによる物理的・心理的現象を理解し、環境負荷の少ない快適空間の構築を目指しています。将来は、設備設計、設備施工、設備管理、環境・設備関連技術の開発・研究に携わる

基幹基礎 (必修12単位)	建築IT概論(社) 後 2						
							構造系(第3部門) 美しく安全・安心な生活環境と持続可能な都市の構築を目的に、地震災害などの災害に強い建築や、造形的に優れた建築を造るための技術や設計法を扱う分野が構造系です。この分野に進んだ場合、建築構造設計、耐震診断及び補強などに携わる専門家や研究者を目指します。
							微分積分学(社) 通 4 線形代数学(社) 前 2 物理学1(社) 前 2
							物理学2(社) 後 2

一般教養科目 英語系(必修6単位) (選択必修2単位)	2年次編入学時に未履修の学生は2~4年時に取得						
-----------------------------------	-------------------------	--	--	--	--	--	--

一般教養科目 (選択20単位)	2年次編入学時に未履修の学生は2~4年時に取得						
--------------------	-------------------------	--	--	--	--	--	--

2年 建築学の基礎を学ぶ		3年 専門性を強めた内容を学ぶ		4年 卒業研究と卒業制作	
3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

建築学の全体像をつかむことを目的に、必修である建築概論、設計基礎、力学基礎などに加え、並行して設計製図や建築環境工学などの科目を学修することで、編入学生にあわせ、建築学の専門領域の基礎を固めます。

選択必修科目の履修を通じて、専門分野の理解を深め、卒業研究の基礎となる専門分野の内容を深く学びます。

卒業研究もしくは卒業設計のいずれかを選択し、これまで学んできた建築に関する専門知識の集大成として、年間を通じて卒業研究および卒業設計に取り組めます。各自のテーマについて研究や制作をまとめます。担当教授や研究室の仲間とともに、もっとも充実した日々となります。